

事業者名:尾鷲木材協同組合

展示住宅等の建設地住所:三重県尾鷲市中央町599-32

事業者連絡先:0597-22-0101

事業の種類:①展示住宅、②生活体験施設

総事業費:2,987万円(うち補助金2,629万円)

基本性能等の基準:①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ)、③改修



＜展示住宅・生活体験施設の平面図＞



＜展示住宅等の仕様等＞

- ①床面積:(1階) 92.40㎡、(2階)43.45㎡
- ②外観:木造2階建て 延床面積:135.85㎡
屋根:ガルバリウム横ハゼ葺き
外壁:ジョリパット吹きつけ
- ③構造(部位毎の建材、寸法等):
通し柱 120×120(桧1等)
管柱 120×120,105×105,90×90(桧1等)
梁・桁 120×390~180(桧化粧),
120×330~150(杉1等)
間柱 120×45(桧1等)
土台 120×120(桧1等)
大引 105×105(桧1等)

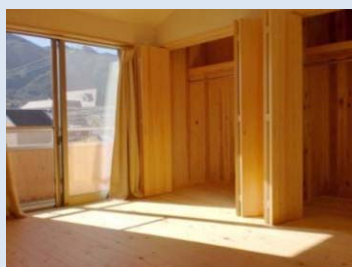
- ④断熱性能:
床,壁,天井:押出法ポリスチレンフォーム3種
省エネルギー性等級4V地域充填断熱工法基準による
- ⑤展示期間:平成22年4月~平成29年4月

＜展示住宅・生活体験施設の特徴＞

- ① 尾鷲ひのきが体感できる家。
- ② 木材は基本的に尾鷲の無垢材を使用。
その他の材料についても可能な限り人や環境に配慮した自然素材を使用。
- ③ 省エネルギーに配慮した家づくり。
- ④ 建築デザインも含めて尾鷲ひのきの新たな活用の提案ができる家。
- ⑤ 長期優良住宅(100年住宅)の規格とする。

＜平成22年度の成果＞

- ①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月~平成23年3月):703名
- ②来場者又は生活体験者の主な声:
○桧の香りがよい ○尾鷲ひのきで家を建てたい
○間取りが広い ○坪単価が少し高い



事業者名:(株)せこ住研

展示住宅等の建設地住所:三重県度会郡玉城町蚊野字木の下2634-1

事業者連絡先:0596-58-2570

事業の種類:①展示住宅、②生活体験施設

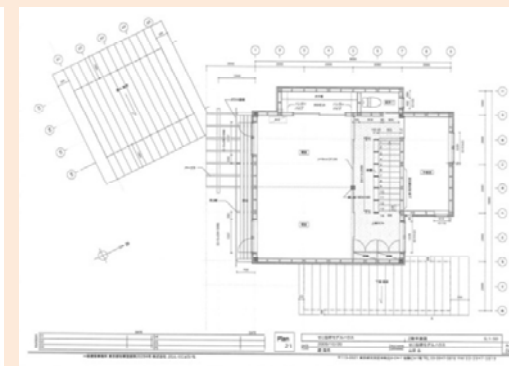
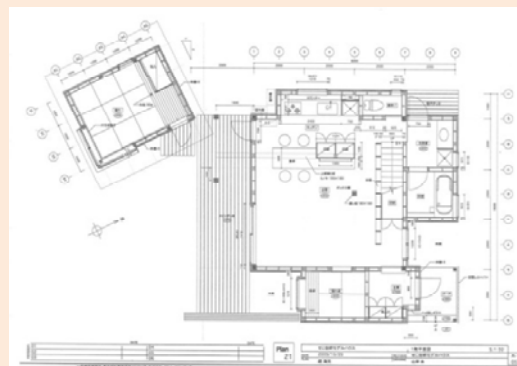
総事業費:4,641万円(うち補助金2,624万円)

基本性能等の基準:①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ)、③改修



伊勢の空の下
に建つ家なので、
伊勢町家。

<展示住宅の平面図>



<展示住宅の仕様等>

- ①床面積:(1階) 57.0㎡、(2階) 49.0㎡
- ②外観:片流れ屋根、「伊勢町家」をイメージ
- ③構造(部位毎の建材、寸法等):
 - ・通し柱:ヒノキ180×180
 - ・大梁:スギ120×360~270
 - ・管柱:ヒノキ120×120
 - ・登り梁・小梁:スギ120×180
- ④断熱性能:
次世代省エネ基準(伊勢地区は等級4)
における $Q=2.7W/m^2K$ 以下
- ⑤展示期間:平成22年4月~平成29年3月



<展示住宅の特徴>

- ①三重県産木材による軸受工法建築
薬剤処理を行わず劣化軽減等級3を取得
- ②「伊勢町家」をイメージ
デッキを介した離れ部屋の設置(非補助分)
- ③耐震等級2を基本に設計・施工
せこ住研が取得している「超長期優良」規格で施工

<平成22年度の成果>

- ①来場者数(平成22年4月~平成23年3月):284名
- ②来場者の主な声:
 - 桧や杉の匂いが一杯ですね
 - 空気のきれいさにビックリしました
 - 子どもたちが大きくなっても間取りが楽に変わられそう

平成20年度地域住宅モデル普及推進事業による展示住宅等の概要(平成22年度成果報告)

(とりまとめ都道府県名 三重県)

事業者名:特定非営利活動法人 ア・ピース・オブ・コスモス

展示住宅等の建設地住所:三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島127-3

事業者連絡先:0597-47-2116

事業の種類: ①展示住宅、②生活体験施設

総事業費:2,459万円 (うち補助金2,157万円)

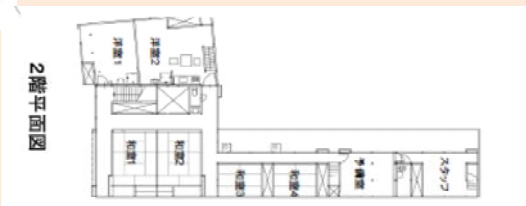
基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ)、③改修



<展示住宅・生活体験施設の平面図>



【1階】



【2階】

<展示住宅等の仕様等>

①床面積:(1階) 241.53㎡、(2階)229.93㎡

②外観:
古民家(専用住宅)

③構造(部位毎の建材、寸法等):
木造二階建

④断熱性能:
日本瓦葺き 化粧裏板貼
シックイ塗り 杉板

⑤展示期間:平成22年4月~平成29年3月

<展示住宅・生活体験施設の特徴>

- ①この生活体験は、参加者が当該施設に短期滞在しながら生活体験メニューに基づいて宿泊体験するというもので、メニューの立案と運営には、地場産業に精通する方や地域の方々に参画していただくことにより、交流を含めた田舎暮らし体験を提供し、田舎で豊かに生きる力を養成します
- ②都市部に住む人を対象にガイダンスを行うとともにホームページを通じて情報発信を行うなど、二地域居住やUターン希望者の定住促進を啓発します。
- ③アーティスト・イン・レジデンスでは、作家が紀北町に滞在して、地域のリサーチや取材を行いながら、自然や街や住民から着想を得て制作を行います。作家それぞれの新鮮な視点で地域を見つめることで、地元の人が気づかない地域の魅力や問題点を気づかせてくれる、そんな作品が生まれることを期待しています。
また滞在中に、学校などでワークショップを実施して頂き、ここで得た成果を地元に戻して頂くことをお願いしています

<平成22年度の成果>

- ①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月~平成23年3月):333名
- ②来場者又は生活体験者の主な声:
○.....いろいろなイベントを開催している。
○.....町外者からは、自分の住む地域に同様な施設が欲しい。
○.....石窯ピザ作りは、リピーターが多い体験メニューで評判が良い。

